

《地域子ども・子育て支援事業における区域の設定について》

・教育・保育事業及び地域子ども・子育て支援事業は、共通の区域設定が基本。

・ただし、教育・保育施設等及び地域子ども子育て支援事業の広域利用の実態が異なる場合には、実状に応じて、区分または事業ごとに設定することができる。

・地域子ども・子育て支援事業における区域の設定については、下記の理由により、放課後児童健全育成事業を除き、市全域でニーズ量及び確保方策を定める。

(主な理由)

- ・利用回数が少ない。
- ・職員が対象者の居宅に訪問する事業である。
- ・広域的な利用が想定される。

市全域で設定する事業
<ul style="list-style-type: none"> ・時間外保育事業(延長保育事業) ・子育て短期支援事業(ショートステイ) ・病児・病後児保育事業 ・地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター) ・一時預かり事業 ・子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター) ・乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問) ・妊婦健康診査(妊婦健診) ・養育支援訪問事業 ・利用者支援事業
教育・保育事業の提供区域ごとに設定する事業
<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業(学童クラブ)

《量の見込み及び確保方策について》

1. 時間外保育事業(延長保育事業)

H25年度実績		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
実施施設数	実人数	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值
21	1,873	4,142	2,369	4,338	2,617	4,427	2,865	4,469	3,113	4,473	3,349
補正方法		ニーズ調査の設問より「日常的に祖父母等に見てもらえる」と回答した人を控除。控除した平成31年度の量の見込みみから、教育・保育事業と同様平均的に増加するように現状からの増加量を按分する。									
確保方策		2,492		2,914		3,136		3,216		3,296	
確保の内容		新規開設園においても延長保育を実施する。									

2. 子育て短期支援事業(ショートステイ(宿泊))

H25年度実績		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
実施施設数	延べ人数	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值
1	27	319	319	334	334	341	341	344	344	344	344
補正方法		補正なし									
確保方策		365		365		365		365		365	
確保の内容		現在の提供体制を維持する。									

3. 地域子育て支援拠点事業(地域子育て支援センター)

H25年度実績		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
実施施設数	延べ人数	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值
※16	46,035	148,560	91,356	156,852	96,456	158,628	97,551	157,512	96,864	154,824	95,208
補正方法		保育認定該当者は、平日は利用せず、利用頻度が低いと想定できるため、利用希望日数を月1日とし、算出する。									
確保方策		15		15		15		15		15	
確保の内容		事業内容の質の向上を図る。									

※H26.4.1～14箇所

4-1. 一時預かり事業(幼稚園における在園児対象型)

H25年度実績	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		
	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	
私立幼稚園 の預かり保育 →16,263	1号	19,349	13,796	20,102	14,333	20,697	14,757	21,230	15,137	21,601	15,402
	2号	107,658	65,967	111,849	68,535	115,157	70,562	118,125	72,380	120,190	73,646
補正方法	ニーズ調査の設問より「日常的に祖父母等に見てもらえる」と回答した人を控除。 2号認定については、平均利用日数を用いる。										
確保方策	31,480		31,480		31,480		31,480		31,480		
確保の内容	幼稚園の長時間保育実施を推進し、保護者の利用施設の選択肢を増やす。										

4-2. 上記以外の一時預かり(ファミリーサポートセンター(就学前)、一時保育、ショートステイ(日帰り)、トワイライトステイ)

H25年度実績	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		
	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	
ファミサポ→3,162 ショートステイ、ト ワイライトステイ →10、一時保育 →10,437	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	
	65,122	10,448	68,367	11,102	69,593	11,149	69,934	10,924	69,639	10,579	
補正方法	保育認定を受けているものを除外する。										
確保方策 ファミサポ	3,383		3,519		3,604		3,808		3,944		
ショートステイ 及トワイライト ステイ	365		365		365		365		365		
一時保育	25,250		25,250		25,250		25,250		25,250		
確保内容	ファミリーサポートセンターの実施施設数を増設する。 トワイライトステイ、ショートステイについては、現在の提供体制を継続する。										

5. 病児・病後児保育事業

H25年度実績	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度		
	実施施設数	延べ人数	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	
2	112	13,914	536	14,572	561	14,871	573	15,014	578	15,026	579
補正方法	実績と大きく乖離しているため、ニーズ調査の設問にある主な親族等協力者の状況から、「日常的、もしくは緊急時に子どもを親族や知人にみてもらえる人」と回答した人の割合を控除。 上記の数値に実際の平均利用日数に基づき量の見込みを算出する。										
確保方策	1,200		1,200		2,400		2,400		2,400		
確保の内容	現在の提供体制を継続するとともに、病児保育事業の実施を検討する。										

6. ファミリーサポートセンター(小学生)

H25年度実績		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		H31年度	
実施施設数	延べ人数	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值	ニーズ量	補正值
1	2,278	2,080	2,464	2,132	2,563	2,236	2,666	2,340	2,773	2,392	2,884
補正方法		低学年についてニーズが算出されなかったことから、過去の利用実績を用いて算出する。									
確保方策		2,431		2,533		2,686		2,737		2,856	
確保の内容		提供会員が不足していることから、提供会員を確保する。 また、利便性の向上のために、実施施設を増設する。									

《ニーズ調査結果によらず算出する事業》

7 乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問事業)

※暫定値

H25年度実績	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
1,602	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
確保方策	実施機関:健康福祉部健康増進課				

《ニーズ調査結果によらず算出する事業》

8. 養育支援訪問事業

※暫定値

H25年度実績	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
4	39	39	39	39	39
確保方策	実施機関:健康福祉部健康増進課(委託にて実施(1団体))				

《ニーズ調査結果によらず算出する事業》

9. 妊婦健康診査(妊婦健診)

※暫定値

H25年度実績※(妊娠届出者数)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
1,701	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700
確保方策	実施場所:全国医療機関 実施時期:通年実施 実施体制:医療機関との委託契約 検査項目:国が定める基本的な妊婦健康診査項目				

《ニーズ調査結果によらず算出する事業》

10. 利用者支援事業

H25年度実績	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
なし	1	1	1	1	1
確保方策	平成27年度以降に1箇所設置する。設置場所は未定。				